

令和4年度 小浜市立西津小学校スクールプラン

【小浜市教育に関する大綱】

食育文化都市にふさわしい郷土を愛する心を培い、新しい時代を生き抜く「志」高い人材を育成する。

【小浜市学校教育方針】

郷土を愛し、よりよい小浜と日本の未来を創造しようとする児童生徒の育成をめざす。

【児童の実態】

- ・明るく素直でよく遊ぶ
- ・他学年と仲良く交流できる
- ・間違いを恐れず、チャレンジすることが苦手

【保護者・地域・教職員の願い】

- ・認め合い 助け合い 思いやりのある子
- ・夢や希望をもち、自ら意欲的に学ぶ子
- ・ふるさとに愛着をもてる子

<学校教育目標> やさしく かしく たくましく 西津を愛する子
～ 自ら学び、共に伸びる子の育成 ～

めざす
児童像

やさしく
共に伸びる子

かしく
自ら学ぶ子

たくましく
チャレンジする子

西津を愛する
ふるさと
大好き子

【重点目標】

共に伸びる子

- ①伝え合う力…意思疎通
自分の考えを持ち、相手のことを考えながら伝えたり、聞いたりすることができる子
- ②認め合う力…他者承認
自分と他者との違いを受け入れるとともに、他者の良いところや成長・頑張り気づける子
- ③支え合う力…協働
周囲の他者たちと仲間意識を持って繋がり、お互いに協力することができる子

自ら学ぶ子

- ①自ら学ぶ力…基礎・基本の定着
各教科の内容を学ぶ中で、必要な資質・能力を習得することができる子
- ②活用する力…情報活用
課題を解決するために、身につけた資質・能力を活用することができる子
- ③自らの学びを追求する力…追求
自分の興味・関心のあることについて、自分なりの方法で深め追求することができる子

チャレンジする子

- ①挑む力…自信
自信を持っていろいろなことに興味を広げてやってみることで、喜びと達成感を感じ取ることができる子
- ②高める力…向上心
自分でみつけた目標のために取組、次の課題や目標を見つけることができる子
- ③あきらめない力…根気
失敗しても気持ちを切り替え繰り返し、あきらめずに最後までやりきることができる子

ふるさと大好き子

- ①ふるさとを愛する心
ふるさと小浜・西津をさらに好きになる子
- ②ふるさと西津を元気にする力
ひと・もの・ことと関わりながら、今より深くふるさとについて考えることができる子

【具体的な取組】

- ・毎月の生活チェックで、友だちのよさを認め合う項目を設け、日々の生活で意識させる。各学年に合わせたよさを認め合う活動に取り組む。
- ・ピアサポートプランを意識したふり返りシートを活用し、蓄積する。(チャレンジする子のふり返りシートと同じもの)
- ・人権意識の涵養のため、伸ばしてほしい価値と伸ばしてほしくない価値を共有し、即時的・適時的なフィードバックを行う。

- ・授業における対話や振り返りを大切にしたり、自主学習を推進したりして、児童が主体的に取り組める授業や場の設定を行う。
- ・「読み・書き・計算」を学習の基礎・基本と捉え、ドリルタイム等の場で継続して取り組み、学力の定着を図る。
- ・学期末テストを実施する。
- ・学年のおすすめ本や巡回図書等で、読書の幅を広げながら、計画的に読書活動を展開する。
- ・身につけた力を他教科や行事等で活かせるようにカリキュラム・マネジメントを行う。

- ・朝運動の結果を個人で記録することで見える化し、それをもとにショートスパンの目標を設定させたり、振り返ったりすることで、より高い目標にチャレンジできる基盤をつくる。
- ・「がんばりカード」を活用し、ふりかえり用のファイルを作って記録を蓄積していく。学校行事や体験活動などのふりかえりでは、同一観点で自己評価させることで、行事固有の目標に対する評価だけでなく、年間を通した自己評価ができるようにする。
- ・Q-U や教育相談、学級力アンケートを活用し、学級の状態を児童に明示することで、チャレンジしやすい学級づくりを行う。

- ・生活科・総合的な学習の時間を軸に、系統的な「ふるさと学習」を通じて、西津の歴史・文化・産業・人々について調べ、「ひと・もの・こと」との出会いの場面を多く持つことにより「西津が大好き」と思える児童を育てる。
- ・「ふるさと遠足」等で地域に足を運び、地域の現実や願いを知ることを通して、課題に目を向け、課題解決の方法を考えられるようにする。
- ・地域の方に元気の挨拶を継続して行い、地域の方への感謝の気持ちを持つ。
- ・「シルバーカフェ」で高齢者の方から西津への思いを聞きとることを通して、地域をより良くしていきたいという気持ちを高める。
- ・児童の思考の流れや、探求サイクルを意識したストーリー性のある年間計画を立案する。

【数値目標】

- (1) 年度初めの自分とくらべて、友だちのよさを見つけ伝えられたと答える児童80%以上をめざす。
- (2) 子どもの非認知能力を伸ばすことができたと答える教員80%以上めざす。

- (1) 「課題意識をもって進んで授業に取り組めた」といえる児童80%以上をめざす。
- (2) 授業がわかる児童85%以上をめざす。
- (3) 学期末テスト学級平均80点以上をめざす。

- (1) 「自分にあった目標を立てることができた」児童90%以上をめざす。
- (2) 「目標に向かって取り組んだ結果、自分ののびを感じることができた。」児童80%以上をめざす。

- (1) 「ふるさと小浜・西津の自慢を説明できる」と答える児童90%以上をめざす。
- (2) 西津をより良くするために、自分にできることを考え行動できる児童80%以上をめざす。

<業務改善のための取組>

- ①会議時間60分以内の徹底とペーパーレス化
- ②ICT機器を活用した事務処理や伝達事項の効率化
- ③スクラップ&ビルドの視点を持ち、新しい取組を入れる際には既存の取組をやめる。
- ④毎水曜日(ノーマルデー)の一斉退勤時刻18:00、17:30(冬季)